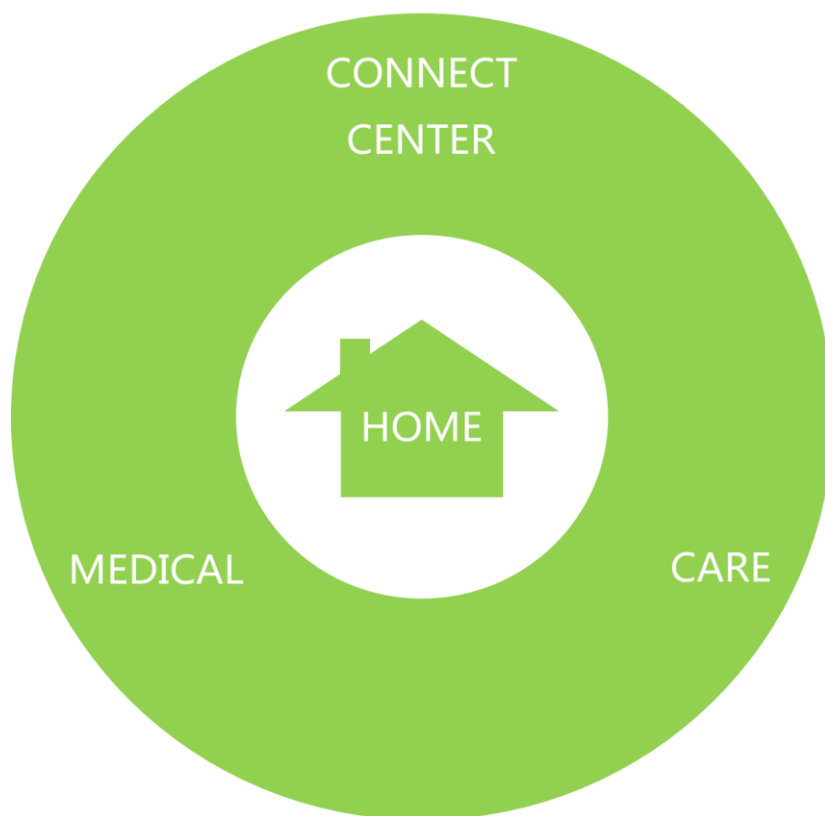


令和6年度 西東京市における 在宅医療・介護連携推進事業等 実施状況報告書



令和7年5月19日

西東京市 健康福祉部 高齢者支援課

目次

1	地域包括ケアシステム推進協議会	1
(1)	市民との協働啓発部会	2
(2)	連携のしくみづくり部会	2
(3)	病院・在宅連携部会	3
(4)	看取り支援部会	4
(5)	認知症支援部会	4
2	在宅療養連携支援センター「にしのわ」	5
(1)	活動実績	5
(2)	相談について	6
3	在宅療養後方支援病床確保事業	9
(1)	利用実績	9
4	多職種研修（連携のしくみづくり部会）	11
5	病院・在宅研修（連携のしくみづくり部会）	12

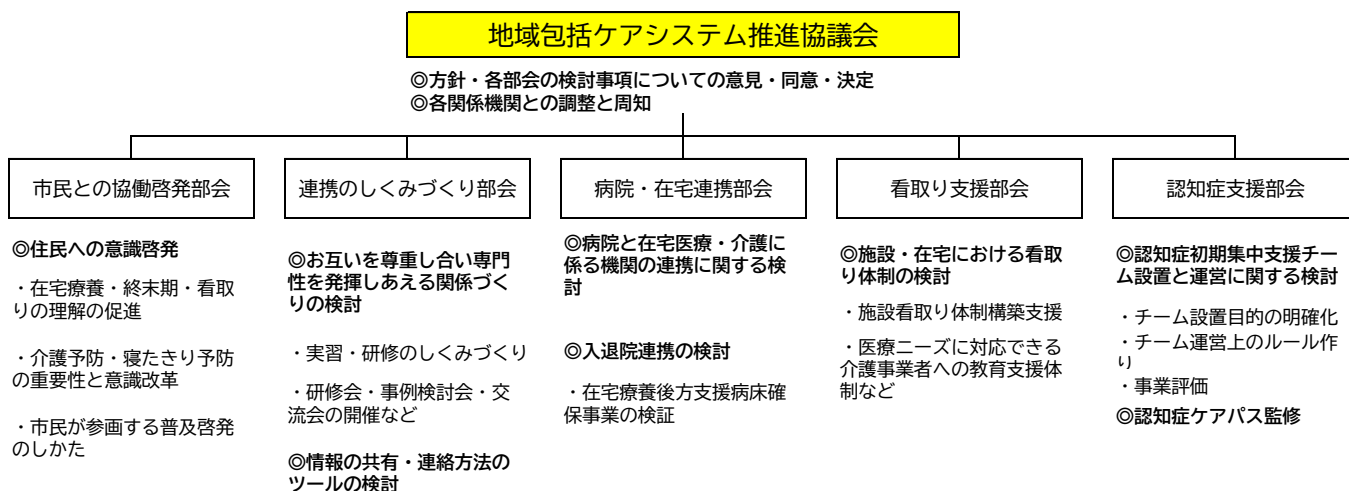
1 地域包括ケアシステム推進協議会

市内各団体の代表等が参加する会議であり、令和6年度は、次のとおり計3回の会議を開催した。

	日付	場所	議題
第1回	令和6年 5月22日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室3	・令和5年度在宅医療・介護連携推進事業等実施報告について ・令和5年度在宅医療利用者に関する調査結果について ・令和5年度にしのわ相談ケース要因の分析について ・令和5年度にしのわ活動一覧について ・2025年に向けた今後の取り組みについて ・西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）について ・令和5年度在宅医療・介護連携推進事業について ・フレイル予防事業・介護予防事業について
第2回	令和6年 11月7日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室3	・令和6年度上半期在宅医療・介護連携推進事業等実施報告について ・令和7年度以降の地域包括ケアシステム推進協議会・部会編成について ・令和6年度上半期にしのわからの報告について ・令和7年1月18日開催新年多職種連携交流会（医師会主催）について ・地域包括ケアシステムにおける課題等について
第3回	令和7年 3月6日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室3	・これまでの課題整理及び現状について ・2040年を目指した今後の部会のあり方について ・令和7年度以降の地域包括ケアシステム推進協議会・部会編成について

また、個別具体的な内容を検討する場として、5つの部会を設置している。（図1）

図1 地域包括ケアシステム推進協議会組織図（令和7年3月31日時点）



それぞれの部会の議題、会議の開催状況等は次のとおり。

(1) 市民との協働啓発部会

この部会の主な議題は、在宅療養を始めとする地域包括ケアシステムに関して市民・専門職へ啓発することである。

また、5つの部会の中で、唯一市民が部会員として参加している部会である。

令和6年度では、人生を振り返りながら人生の最終段階を話し合えるツールとしての人生ノートについて、市民イベントにブースを設置し、人生ノート・ACPについて普及啓発を行った。

専門職においては、ACPのツールとしての普及を図るとともに、各職種の分科会や研修会で周知を行った。

	日付	場所	議題
作業部会	令和6年 5月31日	西東京市役所 田無第2庁舎 1階	■人生ノートの活用について ・専門職への普及について
第1回	令和6年 6月4日	西東京市役所 田無第2庁舎 5階会議室	■人生ノートの活用について ・人生会議の啓発について
作業部会	令和6年 9月25日	西東京市役所 田無第2庁舎 1階	■人生ノートの活用について ・専門職への普及について
第2回	令和6年 10月2日	西東京市役所 田無第2庁舎 4階会議室3	■人生ノートの活用について ・人生会議の啓発について
作業部会	令和6年 12月16日	西東京市役所 田無第2庁舎 1階	■人生ノートの活用について ・専門職への普及について
第3回	令和7年 2月18日	西東京市役所 田無第2庁舎 5階会議室	■人生ノートの活用について ・人生会議の啓発について

(2) 連携のしくみづくり部会

この部会の主な議題は、地域の多職種連携を推進することである。

令和6年度は、「第7回西東京市多職種研修」及び武蔵野徳洲会病院において「病院・在宅研修」を開催した。

今後も多職種研修だけではなく、病院・在宅研修について検討・実施する予定である。

	日付	場所	議題
第1回	令和6年 7月2日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・病院・在宅研修について ・第7回多職種研修について
第2回	令和6年 9月25日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・病院・在宅研修について ・第7回多職種研修について
第3回	令和7年 2月17日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・病院・在宅研修の進捗について ・今後の連携のしくみづくり部会について

(3) 病院・在宅連携部会

この部会の主な議題は、病院と在宅の連携に関することである。

令和6年度は、西東京市入退院連携ガイドラインを修正・ホームページに掲載し、自由にダウンロードできるように周知した。

また、入退院連携における同職種連携への取組として、同職種意見交換会を実施した。

今後も、西東京市入退院連携ガイドラインの内容の見直しを図るとともに、同職種意見交換会の効果的なあり方について検討していく。

	日付	場所	議題
第1回	令和6年 6月19日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・西東京市版入退院連携ガイドラインについて ・今年度の部会活動について
意見 交換会	令和6年 10月25日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室	・看護職意見交換会
第2回	令和6年 12月18日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・西東京市版入退院連携ガイドラインについて ・同職種意見交換会について
意見 交換会	令和7年 1月30日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室	・リハビリテーション職意見交換会
意見 交換会	令和7年 2月21日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室	・主任ケアマネジャー・地域包括支援センター・ MSW等意見交換会
第3回	令和7年 3月6日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・西東京市版入退院連携ガイドラインについて ・同職種意見交換会について ・在宅療養後方支援病床確保事業について（報告）

(4) 看取り支援部会

この部会の主な議題は、市民が望む場所で安心して最期を迎えられる体制づくりに関することである。

令和6年度には、前年度実施したグループホーム分科会での全2回の研修の振り返りを実施。また、看取り未実施の特別養護老人ホームへ看取り実施に向けたヒヤリングや打ち合わせを実施した。これまでの取り組みを踏まえた在宅・施設での看取りの現状について確認し、令和6年度をもって部会としての活動は閉会している。今後、研修の依頼等があった際には部会員にも協力を依頼している。

	日付	場所	議題
第1回	令和6年 4月16日	西東京市役所 田無第二庁舎 5階会議室	・ 認知症対応型共同生活介護事業者分科会（看取り支援部会研修）の振り返りについて ・ 令和6年度の取り組みについて
第2回	令和6年 12月17日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室2	・ 健光園への看取り支援活動の報告について ・ これまでの取り組みを踏まえた今後の看取り支援について

(5) 認知症支援部会

この部会の主な議題は、認知症の支援に関することである。

令和6年度は、認知症基本法の施行に伴い、「新しい認知症観」や本人の声を反映させた認知症ガイドブックの改訂に取り組んだ。

	日付	場所	議題
第1回	令和6年 7月23日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・ 令和5年度もの忘れ予防検診の報告と今年度の新たな取組紹介 ・ 認知症ガイドブック(ケアパス)の改訂について
第2回	令和7年 2月10日	西東京市役所 田無第二庁舎 5階会議室	・ 認知症ガイドブック(ケアパス)の改訂について

2 在宅療養連携支援センター「にしのわ」

(1) 活動実績

にしのわの活動件数は合計284件である。(図表2)

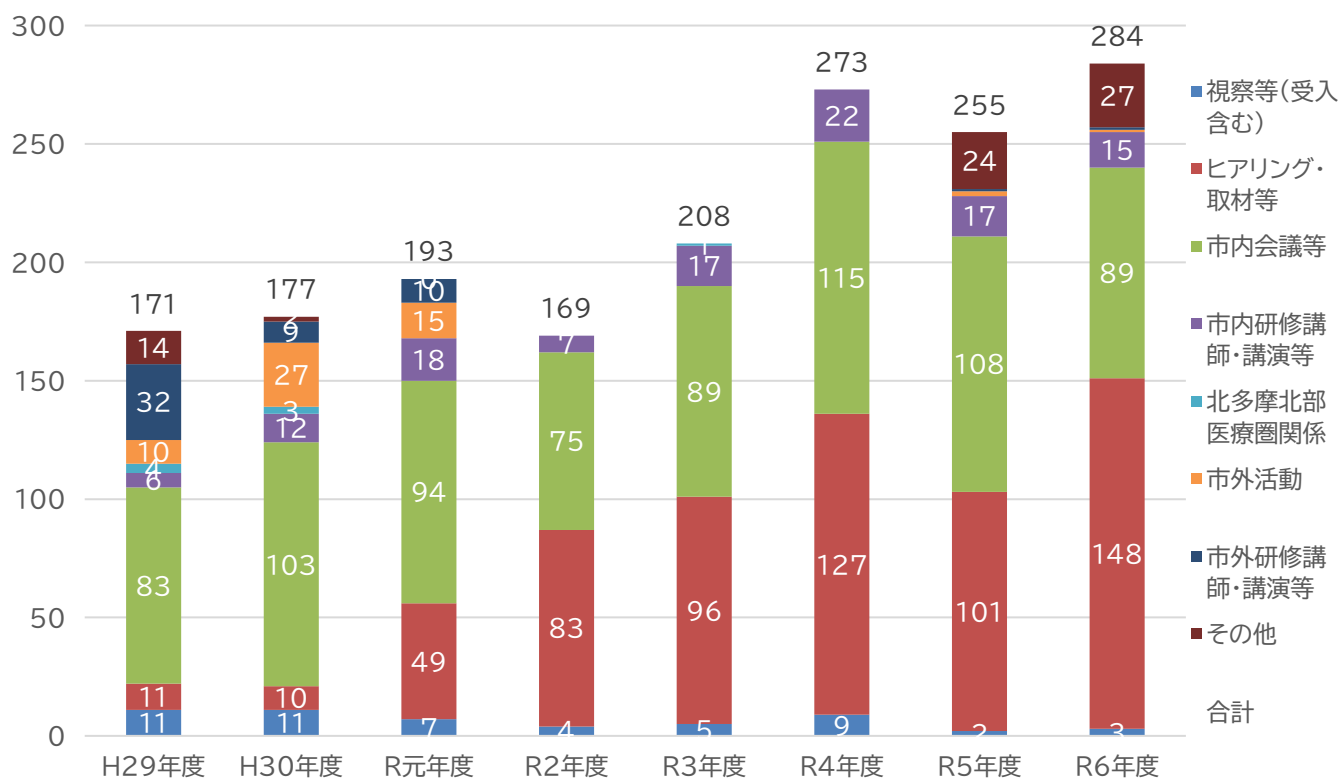
なお、内訳としてヒアリング・取材等が最も多く、次に市内会議等が多くなっている。

図表2 在宅療養連携支援センター「にしのわ」活動実績

分類	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2年度	R3年度	R4 年度	R5年度	R6 年度
視察等(受入含む)	11	11	7	4	5	9	2	3
ヒアリング・取材等	11	10	49	83	96	127	101	148
市内会議等	83	103	94	75	89	115	108	89
市内研修講師・講演等	6	12	18	7	17	22	17	15
北多摩北部医療圏関係	4	3	0	0	1	0	0	0
市外活動	10	27	15	0	0	0	2	1
市外研修講師・講演等	32	9	10	0	0	0	1	1
その他	14	2	0	0	0	0	24	27
合計	171	177	193	169	208	273	255	284

活動件数(件)

にしのわ活動実績年度別推移



(2) 相談について

にしのわへの相談について、内容、相談者（にしのわに相談した機関）、連携先（にしのわがつかない機関）別の実績は次のとおり。

ア 相談内容別

にしのわの相談内容の延べ件数は合計191件である。（図表3）

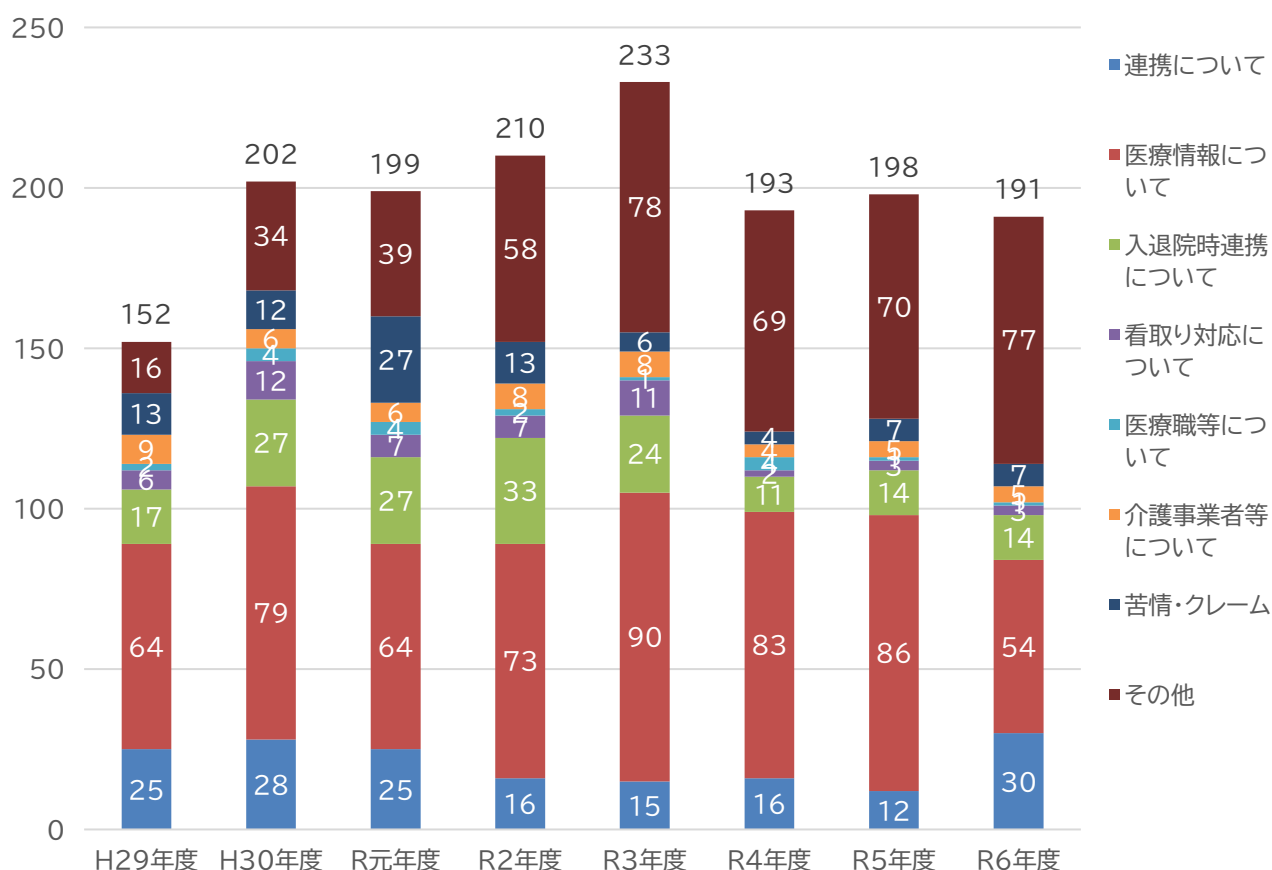
なお、相談意図を詳しく確認する過程で、相談内容が複数の項目にわたっている場合は重複して集計している。また、内訳として医療情報の問い合わせが最も多く、次に連携に関する相談、入退院時連携に関する相談が多くなっている。

図表3 在宅療養連携支援センター「にしのわ」相談内容

分類	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
連携について	25	28	25	16	15	16	12	30
医療情報について	64	79	64	73	90	83	86	54
入退院時連携について	17	27	27	33	24	11	14	14
看取り対応について	6	12	7	7	11	2	3	3
医療職等について	2	4	4	2	1	4	1	1
介護事業者等について	9	6	6	8	8	4	5	5
苦情・クレーム	13	12	27	13	6	4	7	7
その他	16	34	39	58	78	69	70	77
合計	152	202	199	210	233	193	198	191

相談件数(件)

にしのわ相談実績年度別推移



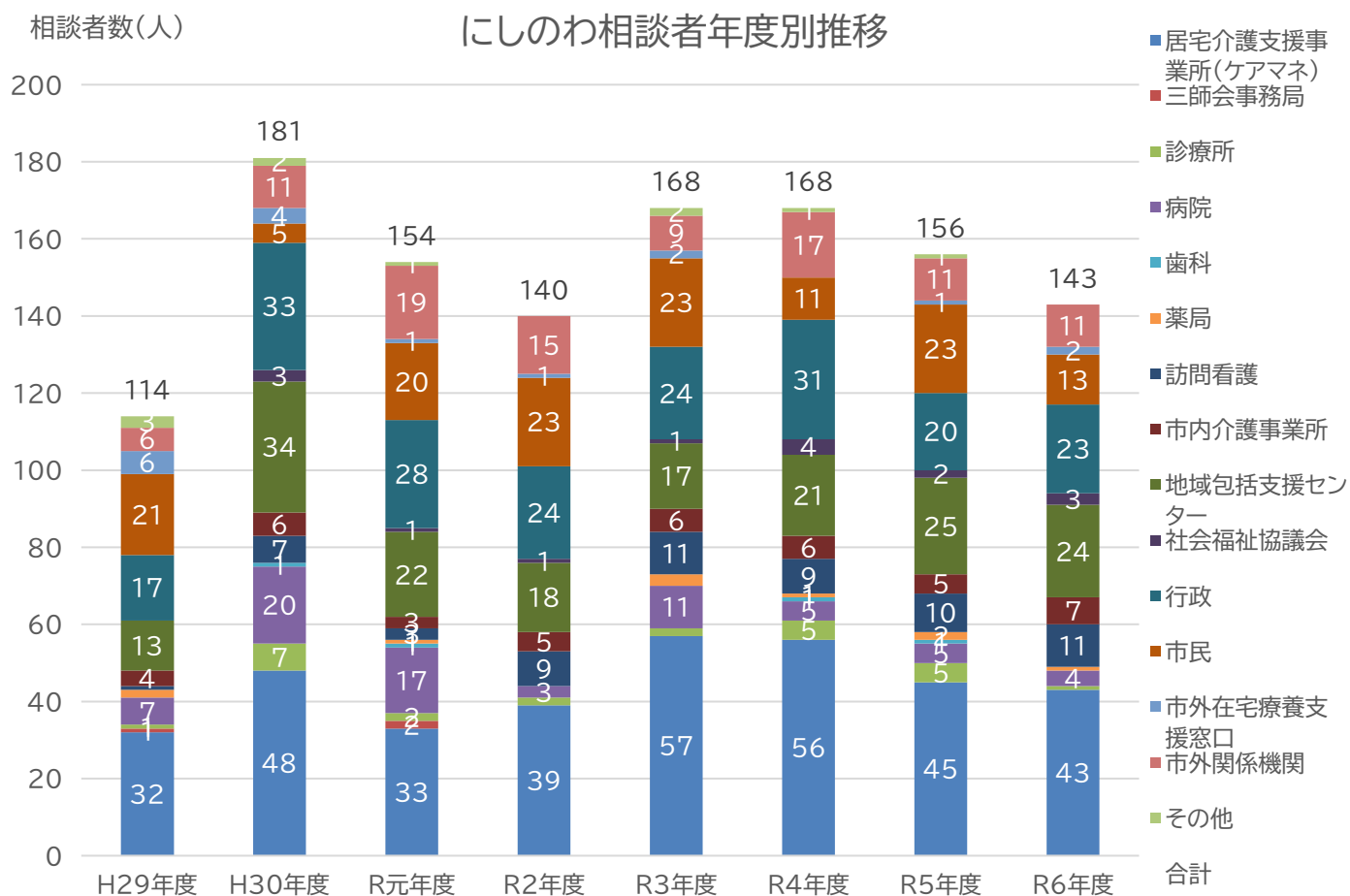
イ 相談者

にしのが相談を受けた関係機関は合計143件である。(図表4)

また、内訳としてケアマネジャーからの問い合わせが最も多く、次に地域包括支援センターが多くなっている。

図表4 在宅療養連携支援センター「にしのが」相談者

分類	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2年度	R3年度	R4 年度	R5年度	R6 年度
居宅介護支援事業所(ケアマネ)	32	48	33	39	57	56	45	43
三師会事務局	1	0	2	0	0	0	0	0
診療所	1	7	2	2	2	5	5	1
病院	7	20	17	3	11	5	5	4
歯科	0	1	1	0	0	1	1	0
薬局	2	0	1	0	3	1	2	1
訪問看護	1	7	3	9	11	9	10	11
市内介護事業所	4	6	3	5	6	6	5	7
地域包括支援センター	13	34	22	18	17	21	25	24
社会福祉協議会	0	3	1	1	1	4	2	3
行政	17	33	28	24	24	31	20	23
市民	21	5	20	23	23	11	23	13
市外在宅療養支援窓口	6	4	1	1	2	0	1	2
市外関係機関	6	11	19	15	9	17	11	11
その他	3	2	1	0	2	1	1	0
合計	114	181	154	140	168	168	156	143



ウ 連携先

にしのわが関係機関につないだ件数は合計70件である。(図表5)

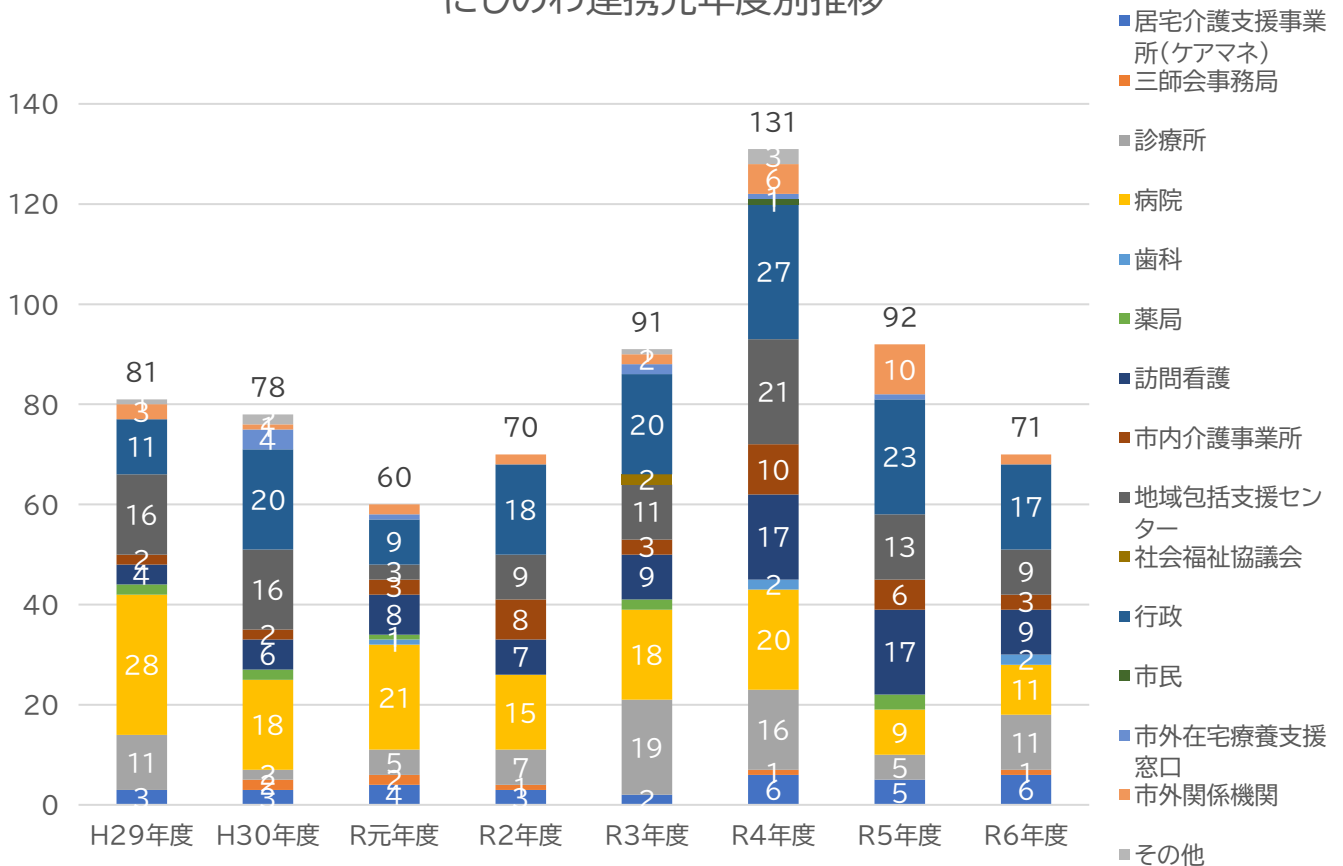
なお、相談意図を詳しく確認する過程で、連携先として複数の機関につなげた場合は重複して集計している。また、内訳として行政が最も多く、次に診療所が多くなっている。

図表5 在宅療養連携支援センター「にしのわ」連携先

分類	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2年度	R3年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
居宅介護支援事業所(ケアマネ)	3	3	4	3	2	6	5	6
三師会事務局	0	2	2	1	0	1	0	1
診療所	11	2	5	7	19	16	5	12
病院	28	18	21	15	18	20	9	10
歯科	0	0	1	0	0	2	0	2
薬局	2	2	1	0	2	0	3	0
訪問看護	4	6	8	7	9	17	17	9
市内介護事業所	2	2	3	8	3	10	6	3
地域包括支援センター	16	16	3	9	11	21	13	9
社会福祉協議会	0	0	0	0	2	0	0	0
行政	11	20	9	18	20	27	23	17
市民	0	0	0	0	0	1	0	0
市外在宅療養支援窓口	0	4	1	0	2	1	1	0
市外関係機関	3	1	2	2	2	6	10	2
その他	1	2	0	0	1	3	0	0
合計	81	78	60	70	91	131	92	71

連携先(件)

にしのわ連携先年度別推移



3 在宅療養後方支援病床確保事業

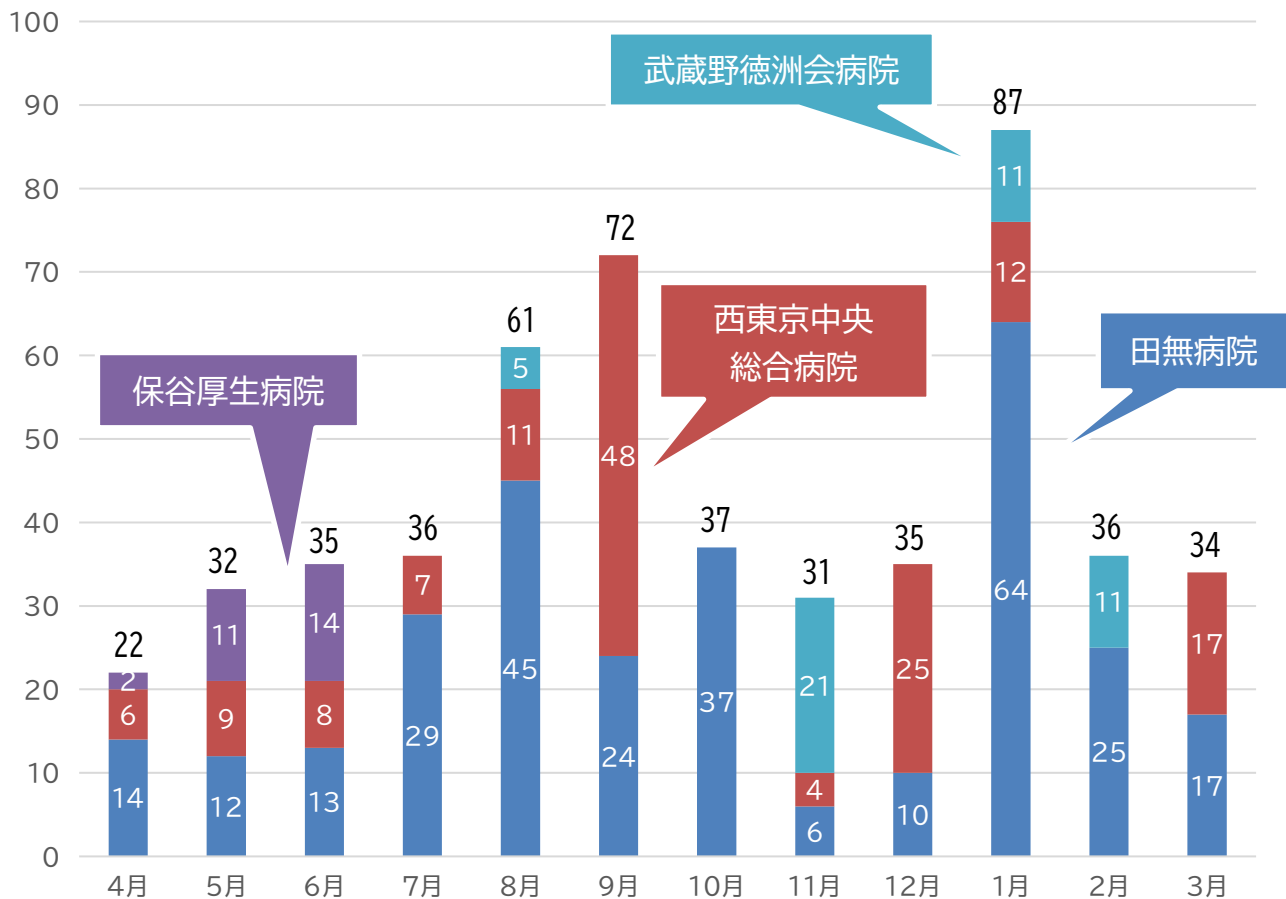
(1) 利用実績

利用延べ日数は合計518日である。(図表6)

なお、8月、9月、1月の利用が多くなっている。

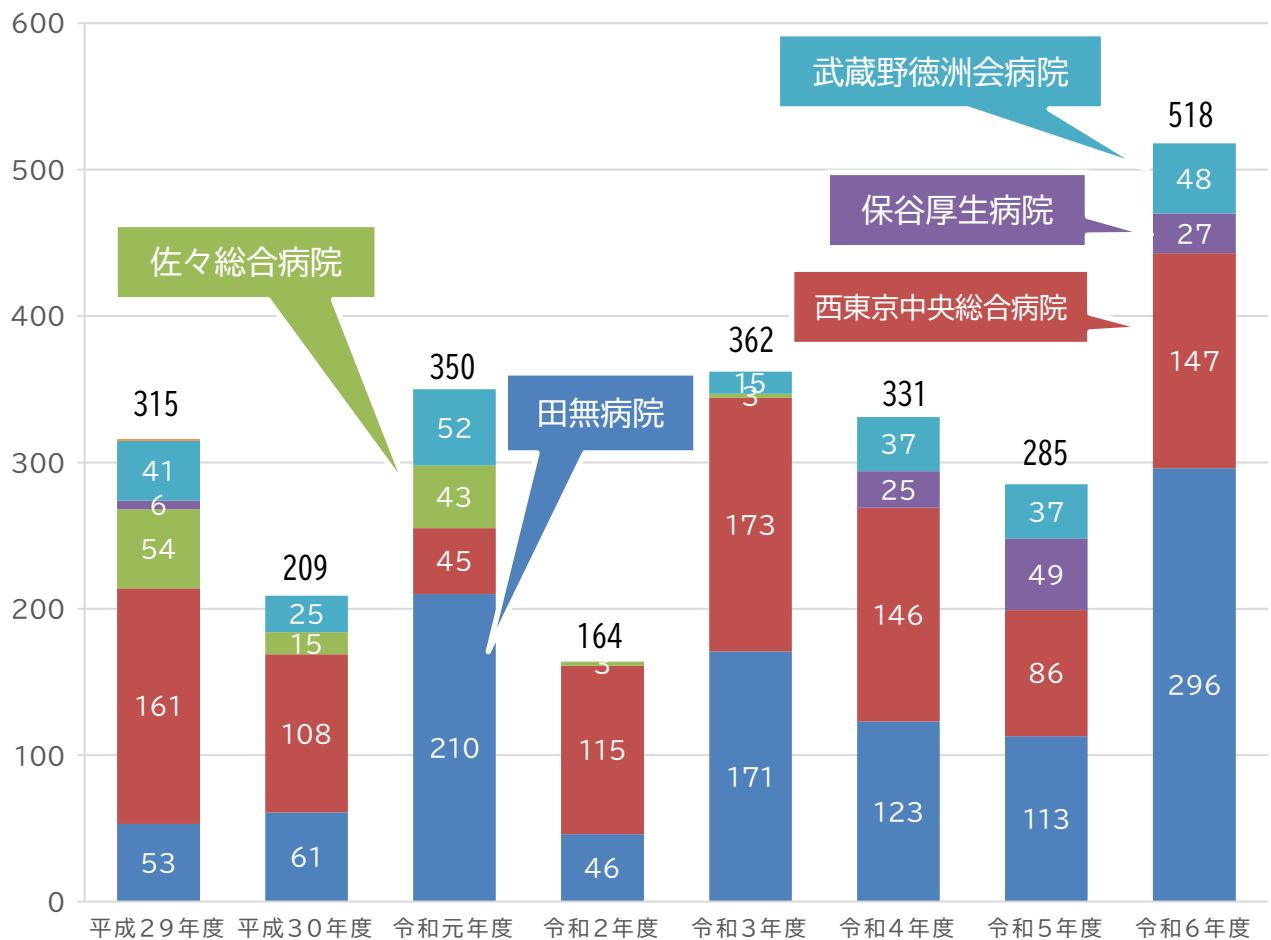
図表6 在宅療養後方支援病床確保事業利用延べ日数（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

年	月	田無病院	西東京中央 総合病院	佐々総合 病院	保谷厚生 病院	武蔵野 徳洲会病院	合計
令和6年	4月	14	6	0	2	0	22
	5月	12	9	0	11	0	32
	6月	13	8	0	14	0	35
	7月	29	7	0	0	0	36
	8月	45	11	0	0	5	61
	9月	24	48	0	0	0	72
	10月	37	0	0	0	0	37
	11月	6	4	0	0	21	31
	12月	10	25	0	0	0	35
令和7年	1月	64	12	0	0	11	87
	2月	25	0	0	0	11	36
	3月	17	17	0	0	0	34
	計	296	147	0	27	48	518



図表 7 在宅療養後方支援病床確保事業利用延べ日数の年度推移

年度	田無病院	西東京中央 総合病院	佐々総合 病院	保谷厚生 病院	武蔵野 徳洲会病院	合計
平成 29 年度	53	161	54	6	41	315
平成 30 年度	61	108	15	0	25	209
令和元年度	210	45	43	0	52	350
令和 2 年度	46	115	3	0	0	164
令和 3 年度	171	173	3	0	15	362
令和 4 年度	123	146	0	25	37	331
令和 5 年度	113	86	0	49	37	285
令和 6 年度	296	147	0	27	48	518



6 多職種研修（連携のしくみづくり部会）

この研修は、西東京市の地域の医療・介護関係者が、お互いの業務の現状等を知り、在宅の高齢者を支援するチームケアを担い、忌憚のない意見が交換できる関係を構築するために、まず知り合い、つながることを目的とする。対象者は、在宅療養者を支える専門職。

次のとおり研修を開催した。

ア 表題

第7回西東京市多職種研修 ～ALL NISHITOKYO 2024～

イ 開催日

令和6年11月29日（金）午後7時から8時まで（その後、懇親会）

ウ 場所

西東京市役所田無第二庁舎4階会議室

エ 受講者数

66名（医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャー、看護師、訪問介護、地域包括支援センター、リハビリ職、医療ソーシャルワーカー、事務）

オ 研修内容

講義「地域共生社会について」 武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科 教授 熊田博喜氏
グループワーク「“連携”について」

写真 第7回西東京市多職種研修（令和6年11月29日撮影）



7 病院・在宅研修（連携のしくみづくり部会）

この研修は、病院関係者・在宅医療関係者が相互理解を図ることを目的とする。

対象者は、市内5病院及び在宅療養者を支える市内専門職等。

研修は、病院のスタッフ（医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、薬剤師、管理栄養士）が在宅スタッフ（訪問診療医、訪問看護師、地域包括支援センター、理学療法士、薬剤師、訪問介護）に同行する在宅研修と、逆に同行した在宅スタッフが病院で行われているラウンド（NSTラウンド、退院支援ラウンド）に同行する病院研修の2つに分かれ、その後、次のとおり病院で開催された報告会にて同行研修参加者からの発表を行った。

ア 表題

第4回西東京市病院・在宅研修報告会

イ 開催日

令和7年3月26日（水）

ウ 場所

医療法人徳洲会 武蔵野徳洲会病院 4階 講堂

エ 受講者数

94名（発表者含む）

写真 第4回西東京市病院・在宅研修（令和7年3月26日撮影）

